

第30回記念 大阪国際女子マラソン



PLAY BACK 2011

韓国・大邱で行われる世界選手権の代表選考会を兼ねて行われた第30回記念大会。気温は大会史上最低の3度、強風も吹きつける厳しい気候の中、国内外招待選手を含めた計392人が力強いスタートを切った



ペースメーカーが5キロ17分というラップを刻むと、外国招待選手が脱落。赤羽、伊藤、堀江、木崎、大平、宮内姉妹、奥永の8人が先頭集団を形成する



20年ぶりにコースが一新された浪速路を駆け抜ける先頭集団。折り返し地点は道頓堀橋南詰まで南下。大阪城の内堀を通らなくなったことにより、全体の高低差も9mに減り、国内屈指のフラットなコースとなった



先頭集団から1人、2人と脱落し、33キロ付近からは赤羽と伊藤の一騎打ちに。風が弱まるのを待ち、38キロ過ぎで飛び出した赤羽。「競技人生で初めて後ろを振り向きました」という渾身のスパートで、一気に差を広げる



赤羽は念願の初戴冠に、夫の周平コーチとともに満面の笑み



赤羽が雪辱の初制覇、伊藤は攻めて堂々の2位

ライバルを置き去りにして以降は一人旅。赤羽は2時間26分29秒でフィニッシュし、5度目のマラソン挑戦で初優勝を飾った。日本人としては大会初となる“ママさんV”も達成。悪条件下の好走で、前年大会で途中棄権した無念を晴らした



2度目のマラソンで2位に入った伊藤。「いけるところまで前でいきたいと思った」と、25キロでペースメーカーが抜けた後には、先頭集団の前方へ出る積極的な走りを見せた



第30回大会 2011.1.30

順位	名前	年齢	国名(所属)	タイム	順位	名前	年齢	国名(所属)	タイム
1	赤羽有紀子	31	ホクレン	2.26.29	6	奥永美香	28	九電工	2.30.36
2	伊藤舞	26	大塚製薬	2.26.55	7	A・ビルティア	30	ルーマニア	2.32.44
3	堀江知佳	29	ユンバーサル	2.27.26	8	宮内洋子	27	京セラ	2.36.43
4	A・インチエルティ	31	イタリア	2.27.33	9	S・ザハロワ	40	ロシア	2.36.56
5	木崎良子	25	ダイハツ	2.29.35	10	宮内宏子	27	京セラ	2.38.31